

小西文孝

先週、2回目の欠席をしました。残りを頑張ります。栗原副会長ありがとうございました。又、柿木さんありがとうございました。奥様によりしくお伝え下さい。

岡本崇司

- ①結婚記念日のお祝ありがとうございました。
- ②欠席がつづき庄司委員長はじめ皆様方にご迷惑をおかけしております。

③ちょっと良いことがありました。

④早退します。

栗原康高

所用の為早退致します。

大森千里

高砂市医師会総会がありますので早退いたします。

高井利夫

早退致します。

例会記録 2005. 3. 23 (水) 通算1295回

ソング 「奉仕の理想」

出席報告 3月9日 会員数 51名 欠席者 1名 出席率 98.04% <修正による>  
3月23日 会員数 51名 欠席者 19名 出席率 62.75%

Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	休会	3/31 (木)
明石南ロータリークラブ	移動例会	4/1 (金) ⇒ PM6:00~ 於: 人丸神社
姫路南ロータリークラブ	移動例会	4/4 (月) ⇒ PM5:30~ 於: 姫路神社

会長 小西文孝 幹事 都倉達殊 クラブ会報委員長 庄司 武  
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)  
事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



ロータリー雑誌月間に因んで

雑誌・広報委員会 大森明夫 委員長

“雑誌月間の目的”

ロータリアン誌及び地域雑誌（ロータリーの友など）の購読と活用促進に」役立つプログラムを行う月間。雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図る事が目的である。R.I.の初代事務総長チェスリー・ペリーによって創刊された。

公式機関紙“ザ・ロータリアン”が発刊された1911年1月25日を記念して1月25日を含む1週間を雑誌週間としていたが1978~79年度から雑誌週間は4月に移され、1983~84年度に特別月間として、4月がロータリー雑誌月間に指定された。

公式地域雑誌とは？

R.I.の地域雑誌の要件を満たし、R.I.理事会が指定した雑誌。

ロータリーの正会員、シニアアクティブ会員及びパスト・サービス会員は、R.I.機関紙（ザ・ロータリアン）またはR.I.理事会が承認した地域雑誌の有料購読者になり、会員である限り購読を続ける事を会員の身分保持の条件としなければならない。と定められております。

“地域雑誌の定義”

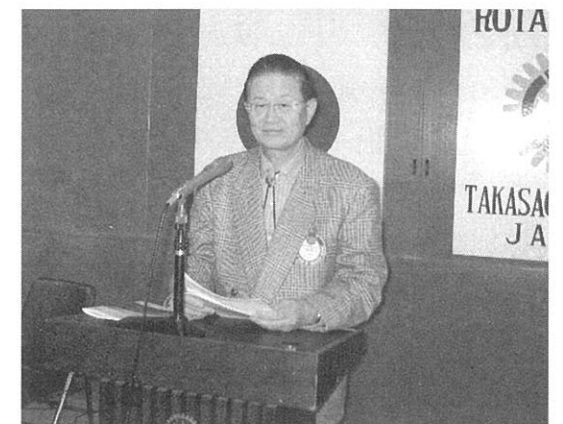
1) その雑誌は2地区、または2カ国以上の地域を対象に発行されたものである事。

- 2) 出版については、少なくとも6人の委員からなる雑誌委員会が直接監督する事。
- 3) 地域雑誌編集者には完全な編集の自由が認められているが編集、経営については適切な監督を受け入れること。
- 4) 編集内容は、R.I.の方針に合致してなければならない。また少なくとも50パーセントはロータリーと関連のある内容で無ければならない。
- 5) 一年間に4回以上発行されなければならない。
- 6) ロータリーの品位と特質に合致した内容と魅力的な概観を保つ事。

“ロータリーの友”

公式地域雑誌指定に関するR.I.理事会決議

R.I.理事会は“ロータリーの友”を1980



年7月より、日本のロータリークラブのための公式地域雑誌と指定した。

“ロータリーの友”の概況：

ロータリーの友は、地区ガバナーの機関紙として、1953年1月に、広い意味でのロータリー・インフォメーションの普及を目的に発足した。

1977年定款の改正に伴い、1979年7月から公式地域雑誌となるための1年間の実験期間に入り、1980年7月から公式地域雑誌となった。

創刊当初は発行部数3,300部であったが、46年後の2004年3月号では約115,000部数に及んでいる。

“ロータリーの友”の内容全般、  
“友”の変遷：

1953年の創刊当初は、横組みでのスタートであったが、歌壇などの横組みだけでは具合が悪くなった関係で、1972年1月から縦組み横組みに分けての編集になり現在に至っている。

“表紙”

年度始めの7月号は“ロータリアン”誌と同じく、その年度の新R.I.会長の顔写真を掲載する事が公式地域雑誌としての要件とされています。

〈横組み〉

ロータリーの特別月間にちなんだ特集やR.I.会長の方針に沿った活動のとしゅうが掲載されます。

R.I.会長メッセージ

ロータリーの特別月間特集記事  
ガバナーのページ

ロータリアンからの転載記事

今月のロータリー

告知板

新世代のページ

日本ロータリーの分布図

〈縦組み〉

Speech Report : 政治、けいざい、社会、文化  
その他の分野に関する論文の執筆、講演、  
卓話の要約記事、座談会などが記載されている。

友愛の広場

談話室

卓話の泉

私の好きな言葉

健康一口メモ

ロータリー俳壇

ロータリー歌壇

ロータリー柳壇

投書箱

わが町わが地区

5) “ロータリーの友”創刊のころ

1952年(昭和27年)4月、大阪で開かれた地区大会で、翌年度から日本が2つの地区に分割される事が決定。分割がされても両地区の連絡を緊密にするための機関紙として“友”の創刊が企画された。

“ロータリーの友”名前の由来：

主婦の友からヒントを得たとの遠藤健三氏は述べられている。

“友”は価格を50円に決定された。当時原価は100円かかったそうであるがそこは広告料でまかなうとし、仏壇の“若林”は創刊当時の顧客である由。

“ザ・ロータリアン”

国際ロータリーの公式機関紙として、全世界のロータリーの活動状況、R.I.役員の活動ぶりを紹介し、その他論説記事として各国の政治、けいざい、社会、科学などの分

野における代表的人物の時宜に適した論文を掲載している。

歴史：

1911年(明治44年)1月、R.I.の初代事務総長チェスリー・ペリーによって創刊。

当初は11ページのダブロイド版であった。現在は165カ国に、50万人の購読を得ております。(わが国では1953年創刊。発行部数115,000部“ロータリーの友”が購読されております)

ロータリーの雑誌から世界を見る！

4月はロータリー雑誌月間です。

何故ロータリアンはロータリーの雑誌を読まなければならないのでしょうか？

それはR.I.の偉大な力は、各クラブを基礎とした組織であると言う事。私達すべてにとって、クラブは、私達一人一人が会員として多くを奉仕し、親睦を深める場であります。しかし、もし自分のクラブを通じてしかロータリーを知る事が無ければ、真に国際的であることを認識する事によってもたらされる、多くの感動や満足感を味わう事はありません。

もう一つの理由はクラブに自治があるということです。自分達だけのクラブに埋もれてしまっていてはマンネリになってしまっ新鮮味がなくなってしまうでしょう。ロータリーの雑誌には新しい奉仕活動の事例が詰まっております。そこで新しい楽しいアイデアの源として読む事が、クラブが有意義な楽しいロータリーライフの源に成るであろうこと請け合いです。と言ったわけでロータリー雑誌“友”を読む由縁でもあります。

雑誌とウェブ：二つの“ロータリーの友”  
印刷媒体の雑誌“ロータリーの友”に出

来なくて、ウェブサイトの“ロータリーの友”にできる事は何なのか？

14年に新しい“ロータリーの友”が誕生し、15年にそのホームページが開設されました。その速報性を生かしてコンピューターと通信回線を生かしてどこに居ても情報を享受する事が即時に出来るようになりました。

ウェブの一覧表では、ホームページを持っているクラブのクラブ名をクリックするだけでそのクラブのホームページを開く事が出来、情報を仕入れる事が出来、例会に出席する前にホームページを開いて情報を仕入れて例会の楽しさが倍増すると言ったところででしょうか？

そうしてこれらは双方向性が出来るでしょうしロータリアン以外の人にもアクセスする事によってロータリークラブの活動を理解していただける一助となる事でしょう。

ロータリーのウェブはさておき、雑誌“友”はどこでも読む事が出来ます。身近なところに置いて少しの時間の有るときにパラパラととりあえず写真だけでも見て、意識しないで目に飛び込んでくる情報に役立つ事があるものではないでしょうか！

国際大会や国際競技会などに出かけると、“友”“TOMO”の知名度は高く、日本のロータリアンの活動や日本文化の海外への紹介に役立っております。

雑誌“友”とウェブの二つの“友”の共演はスタートしたばかりですがどちらか一方と言うのではなく媒体の特性に合わせて効果的に活用していただける事を願っております。

ウェブサイト：<http://www.rotary-no-tomo.jp>

President 会長の時間

桜の蕾も開花の時期を待っている今日この頃です。

4月6日の観桜例会が楽しみです。来週30日はキッコーマン(株)さんへの職場例会です。ご参加ください。

本日は、雑誌、広報委員会担当によるプログラムです。どうぞよろしく。

Secretary 幹事報告

第31回 通算1224回

1. R.I.会長から、ポリオ撲滅募金キャンペーン目標額達成についてのお願いが届いています。
2. (財)ロータリー米山記念奨学会から特別寄付金領収証が届いています。尚、今回功労者として表彰になる方々には、レターケースに手紙を入れていますので確認をお願い致します。
3. 高砂市国際交流協会から多文化交流会の案内が届いています。

(実施日) 4月24日 (日)

(集合場所)

- ① ハイキングをする人は、阿弥陀長尾駐車場
- ② バーベキューだけする人々は、市の池公園

(参加費) 一般：大人1,500円

子供(小・中学校) 1,000円

※幼稚園以下は無料

(締切り) 4月15日 (金)

(申し込み) 高砂市国際交流協会

(0794) 43-9132

4. 来週は職場例会をキッコーマン(株)高砂工場で行いますので宜しくお願い致します。

5. 例会変更

姫路南ロータリークラブ

4月4日(月) ⇒ 移動例会

姫路神社17時30分～

et cetera 委員会報告

ロータリー100周年記念社会奉仕プロジェクトについて

高砂青松ロータリークラブは、創立後27年を経過し現在会員数は、女性会員1名を含め52名のクラブです。当クラブのロータリー100周年記念社会奉仕プロジェクトについて報告させていただきます。

高砂市には、大企業の工場並びに研究施設が多数有り、そこに勤める外国人とその家族の人達が、約27ヶ国、1,200人位が在住しています。現在、高砂市国際交流協会の活動として日本語教室や各国の料理教室等を開催し日本での生活がより楽しくなる様に活動をしています。又、年1回高砂市市の池公園にて開催されます「もちつき&世界の料理を囲む会」にも当クラブからも多数参加し、高砂市在住の外国人の方々との交流を深めています。

この度、外国人の方々には日本の文化と景観を楽しんで頂き、異国人同士の交流と親睦を図るため「こんびら参拝と讃岐うどん手作り体験の旅」を企画しました。

又、このプロジェクトについては、ロータリー財団地区補助金の申請を地区へお願いをして承認をして頂き、実施することができました。

当日、3月6日(日)は天候にも恵まれ、参加人数180名がバス4台に分乗して目的地を目指し出発しました。バスの車中では、日本語の勉強会やゲームをしながら楽しい雰囲気の中で交流をすることができました。琴平神社の参拝と讃岐うどん手作り体験については外国人の人達にも満喫して頂き、参加した全員が楽しい一日を過ごせたと思います。

高砂青松ロータリークラブとしては、今後も社会奉仕・国際奉仕活動の一環として取り組んでいきたいと考えています。

プログラム予定

3月23日(水)	3月30日(水)	4月6日(水)	4月15日(金)
雑誌・広報委員会 担当	職場例会 キッコーマン (株)高砂工場	観桜例会 高砂市 総合運動公園	献血例会 サンモール高砂南 駐車場